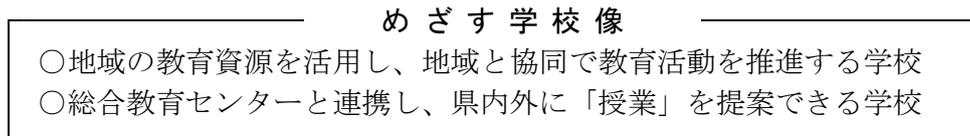
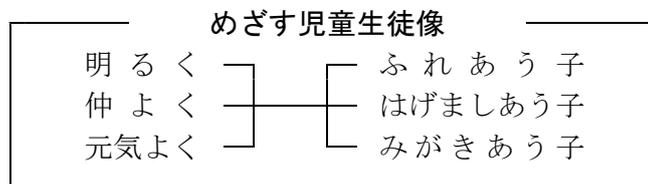


学校経営の方針

1 教育目標

地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成



2 今年度の重点事項

(1) 豊かな教育のある学校の実現

- ① 児童生徒と教職員の信頼関係の深化と生徒指導の充実により、安全・安心で楽しい学校づくりをする。
- ② 児童生徒一人一人の健康の維持・増進、意欲や気力の充実、活力ある生活を支える基本的な要素となる体力、基本的生活習慣に焦点を当てた指導を積極的に推進する。
- ③ 自立活動の視点による実態の的確な把握と課題の設定を基に、児童生徒が何を身に付けるのかを明確にした授業実践に取り組み、児童生徒個々の成長を促す。
- ④ ICTを活用した豊かな学びの推進を図る。
- ⑤ 自ら希望する進路の実現ができるよう、キャリア教育の視点で小中高を貫く教育課程を編成するとともに、地域との連携を基にした実践的職業教育と早期からの進路指導を推進する。

(2) 豊かな地域生活への支援

- ① みどりっこ夏まつりや地域貢献活動など、目的を明確にした地域での学習を積極的に行い、地域とのつながりを深めるとともに、児童生徒の積極的な社会参加を図る。
- ② 学校間及び居住地校における交流及び共同学習を計画的、組織的、継続的に行うことにより、児童生徒の経験を広め、お互いのつながりを深めながら社会性を育てる。
- ③ 障害理解授業等の地域における障害者理解に関する取組により、共に学び合う環境を整える。

(3) 児童生徒の安全・安心と健康な生活の確立

- ① 危機管理マニュアル等の見直しと活用により、感染症や災害に対して自分の命を守る安全・防災教育を推進する。
- ② 外部専門家の支援による職員研修の実施や授業改善等により、医療的ケアや重度重複障害の指導の充実と知的障害教育への活用を推進する。

(4) 秋田県総合教育センターとの連携の推進

- ① 総合教育センター指導主事からの助言や研修講座の受講を積極的、計画的に実施し、教員の資質向上及び授業改善を図る。
- ② 実地研修の場として、研修員、研修受講者等の実習や参観を積極的に受け入れ、特別支援教育の理解推進を図る。